

ハッピー通信

21

ハッピー通信では毎月、当社のオリジナル賃貸住宅「ハッピーマンション」「ハッピーマイホーム」の現オーナー様、もしくは検討中のオーナー様に、コンサルティング事業部の飯土井がインタビューを行い、その後の経営状態やサービスに関する感想などをお伺いします。



飯土井：今日は、85歳の今も元気なR様宅を訪問させていただきました。奥様とお二人で暮らしています。貸家業をはじめたきっかけを教えてください。

R様：若い頃3人で商売をはじめ、忙しい毎日をすごしてました。とある休日、通りがかりの人に、「この地域に貸家はないですか？」と聞かれました。それがきっかけかな。

飯土井：当時、この近辺には貸家が少なかったんですね。

R様：その後、空き地に貸家建築を思案し、知り合いに相談しながら進めました。地域的利便性もあって、上手くいきました。

飯土井：その頃から、当社とのお付き合いが始まりました。建物の不具合などありませんか。

R様：今の所ありません。御社の担当者が定期的に見てくれているので、助かります。これからもお願いします。

飯土井：今日は、高品質・低価格の投資用戸建住宅「ハッピーマイホーム」をご提案させていただきました。

R様：戸建の賃貸住宅ですね。良いと思います。

飯土井：是非ご検討ください。本日はお時間をいただきまして、ありがとうございました。

お庭の手入れ中のR様とお話していて、「誰と信頼関係を作る事が出来るかが大切。」とのお言葉をいただきました。この言葉を胸に刻んで、前に進みます。

インタビューより一言

コンサルティング事業部
課長

イドイ トシユキ

飯土井 利之



こんにちは、コンサルティング事業部の飯土井利之です。コロナ禍で3年が過ぎました。体調の変化などありましたか。個人差はあると思いますが、まだ収束したわけではありませんのでこれからも注意して行動しましょう。

私は予防として

- ①ヨーグルトを毎朝空腹時250cc。
- ②青汁150ccを、1日2回飲みます。

結果として、体重は75kgから70kgに減量成功。

免疫力を付け、体調管理をして、これかも続けたいと思います。



ハッピー通信

21

ハッピー通信では毎月、当社のオリジナル賃貸住宅「ハッピーマンション」「ハッピーマイホーム」の現オーナー様、もしくは検討中のオーナー様に、コンサルティング事業部の石山がインタビューを行い、その後の経営状態やサービスに関する感想などをお伺いします。



石山：今回は、当社でアパート建築を検討中のI様にお話を伺います。当社にアパート建築の相談をしていただきましたが、なぜアパート建築をお考えになったのでしょうか？

I様：私の母はアパートを所有しているのですが、私自身はアパートというものにそこまで興味がありませんでした。現在、息子たちは独立して県外へ行き、母は実家に一人で住んでいます。顔は出しますが、一人で家事などをするには広く、息子たちともよくその話をしていたんです。そこである日、息子から実家にアパートを建て住むのはどうかと言われ、少し考えるようになりました。

石山：そうだったのですね。家の事も大変ですし、一人で住んでいるとなると心配ですよね。なぜ当社に相談していただけたのでしょうか？

I様：知人の紹介です。名前もよく聞きますし、アパートの建築もしていると聞いて、相談してみようかなと思いました。

石山：ありがとうございます。
I様のお考えに沿った提案をさせていただくので、よろしくお願い致します。

今回ご相談いただいたI様のように、アパート建築に少しでも興味を持った際には、理想に合った提案をさせていただきますので、お気軽にお声がけください。

インタビューより一言

コンサルティング事業部
係長

イシヤマ ショウタ

石山 翔太



先日ディズニーシーへ行ってきました。ディズニーシーへは、小学校ぐらいの時にいったのが最後だったので、記憶は曖昧だったのですが、覚えている場所も多く一日中楽しめました。ディズニーシーではお酒も飲みながら楽しめるので、小さい時にいった時とは別の楽しみ方ができたのですが、小学生の時より体も大きくなった分、昔乗ったことがあるアトラクションがかなり狭く感じるなど、複雑な気持ちにもなりました。



ハッピー通信

21

ハッピー通信では毎月、当社のオリジナル賃貸住宅「ハッピーマンション」「ハッピーマイホーム」の現オーナー様、もしくは検討中のオーナー様に、コンサルティング事業部の高橋がインタビューを行い、その後の経営状態やサービスに関する感想などをお伺いします。



オーナーインタビュー②⑥

いわき市在住

W様

高橋：W様は今回、ファミリータイプの賃貸住宅をご検討中です。その経緯をお聞かせください。

W様：公務員を退職した主人と二人暮らしをしていました。家の隣に150坪の畑を持っていて、息子には、将来家を建てるだけのスペースを残してくれるように言われていました。

息子は東京で働いているので、いつのことになるかと考えていたところ、色々なタイプの集合住宅があることを知る機会がありました。

高橋：その中で、ファミリータイプの賃貸住宅を検討されている理由ほどのようなことですか？

W様：当初から5,000万円～1億円にもなるような1K、1LDKのアパートは考えていませんでした。今回の賃貸住宅は、20坪の2LDKが2世帯のメゾネットタイプで、ひとつの建物に一軒家が2つあるようなものです。

15年後【65才定年】に息子が帰ってきた時にも、住むことができると思いました。退職後に収入がなければ、一般住宅のローンが組めないのも、賃貸住宅でも息子の将来の住まいでも利用できると思いました。

高橋：敷地についてはいかがですか？

W様：150坪の半分（75坪）の土地に車4台分のスペースが取れます。残った土地は、ゆくゆく売却してもかまわないと考えています。

高橋：W様は弊社に対してどのような期待をされていますか？

W様：満室状態を維持して欲しいことと、大切に使用してくれる方を入居させてもらいたいです。

高橋：W様、本日はありがとうございました。

最近、売却を含めての土地利用を考える方にお会いする機会が増えています。相続対策や税金対策が理由として特に多いと感じます。私も、少しでも皆様のお役に立てるように頑張りたいと思いました。

インタビューより一言

コンサルティング事業部
課長

タカハシ ミツル

高橋 光則



こんにちは
高橋 光則
コンサルの
高橋 光則



こんにちはコンサルの高橋です。

3月22日、野球のWBCが日本の優勝で幕を閉じました。大谷翔平にはじまり、大谷翔平で終わった大会と感じました。大谷翔平は凄い努力をしていると、様々な方が言われます。それは当然のことです。

違いがあるとすれば、大谷翔平は明るく野球をして、毎日を楽しんでいると思います。

だからこそ、周りに笑顔の人が集まって前向きな気持ちになると思います。

それが、辛いことや屈辱を味わった時に跳ね返すエネルギーになっていると思っています。

